

第9回寒地道路連続セミナー

「新潟県中越地震からの教訓」

新潟県中越地震は、平成16年10月23日に発生し、新潟県の山村豪雪地域に甚大な被害を与えました。地震直後、交通が各地で寸断されました。と同時に道路本体や防雪・融雪施設の損傷により、間近に迫る冬の雪氷災害の危険度をも増大させました。

積雪地域である北海道にとっても、新潟県中越地域における地震発生後の状況や被害対応、地震後の積雪に対する対応については、今後の防災技術向上の大きな参考になると思われます。

そこで今回の寒地道路連続セミナーでは、新潟から中越地震の復旧対応で尽力された技術者をお迎えし、中越地震に関する講演会を開催するものです。

記

日時	平成17年6月22日(水)9:30~12:30	
会場	札幌コンベンションセンター会議室107-108号室	
	札幌市白石区東札幌6条1丁目 TEL 011-817-1010	
主催	(独)北海道開発土木研究所 道路部	
対象	行政機関(国、地方自治体、公団等)担当者 その他関心のある方 (講演内容は道路・防災に関連する行政担当者を主な対象として考えておりますが、 関心のある方であればどなたでもご参加いただけます。)	
定員	150名(先着順)	
内容	・開会挨拶 ・講演	
	北陸地方整備局 企画部 広域計画課長 長岡技術科学大学 機械系 講師 (独)北海道開発土木研究所	坂上 悟 氏 上村 靖司氏 松澤 勝 伊東 靖彦
	(株)アルゴス 雪氷技術センター	上石 勲 氏
	・閉会挨拶	
申込	別紙申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。(mail不可) 6月15日(水)もしくは定員に達した段階で締め切らせていただきます。(先着順)	
備考	土木学会継続教育認定プログラムのCPD単位となります。(申請中)	
参考	・過去の寒地道路連続セミナー開催内容 http://www2.ceri.go.jp/jpn/kanchi-seminar.htm	
問合	・札幌コンベンションセンター 交通案内 http://www.sora-scc.jp/access/access.htm 以下までお願いいたします。 (独)北海道開発土木研究所 防災雪氷研究室 (申込関係:小川、内容関係:伊東) TEL011-841-1746 FAX011-841-9747	snow@ceri.go.jp

FAX 送信票

FAX 番号

- - -

送信者（担当者）

TEL

FAX 番号

011 - 841 - 9747



北海道開発土木研究所

防災雪氷研究室

寒地道路連続セミナー 担当

TEL 011 - 841 - 1746

第 9 回寒地道路連続セミナーに申し込みます。

ふりがな 氏名	所属・役職	E-mail

担当者 様

平成 17 年 月 日

上記の申込について

受け付けました。
(当日このシートをご持参ください)

受付番号 _____

既に定員に達しました。
申し訳ありません。

北海道開発土木研究所・防災雪氷研究室

講演要旨

「中越地震における北陸地方整備局の対応」

北陸地方整備局 企画部 広域計画課 課長 坂上 悟 氏

新潟県中越地震は土砂災害による家屋の倒壊、道路寸断による孤立集落の発生、河道閉塞による浸水被害、水田被害など中山間地域や農村地域に多大な被害をおよぼした。

この地域は豪雪地帯でもあり積雪期前に道路や住宅等の応急復旧を如何に速やかに進めるか、また春先から円滑な復旧を進めるための調査もあわせて進めることがさせまつており、整備局管理の施設復旧及び市町村支援などについて報告します。

「住民の視点で見た中越地震と 2005 豪雪」

長岡技術科学大学 機械系 講師 上村 靖司 氏

中越地震被災地を狙い撃ちするように、12月22日に降り始めた雪は予報・予想・期待を裏切り、19年ぶりの豪雪となった。応急復旧した消雪パイプや機能低下した流雪溝では太刀打ちできず、住民に過酷な雪処理作業を強いた。重い大量の雪は、地震で傷んだ建物を次々と押しつぶした。人身雪害も多発し、26名が命を落とした。これらの概況を報告する。

「雪氷災害調査検討委員会 道路 WG における活動と緊急提言」

(独) 北海道開発土木研究所 松澤 勝・伊東 靖彦

新潟県中越地震は、平成16年10月23日に発生しました。(社)日本雪氷学会と日本雪工学会が合同で立ち上げた「新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会」では、間近に迫る冬の雪氷災害の危険性を調査し、災害軽減につながる対応策の検討を進め、11月14日に緊急提言を取りまとめました。道路WGにおける活動や検討内容から、道路に関する地震災害と地震発生後予測された降積雪による課題について報告します。

「積雪期・融雪期における道路被災の状況」

(株)アルゴス 雪氷技術センター 上石 勲 氏

中越地震で大きな被害を受けた道路や道路雪寒対策施設は各機関の努力で復旧が進められた。本格的な積雪まで2ヶ月足らずという短い期間で各種の仮復旧工法も工夫された。しかし、今冬は19年ぶりの大雪となったため、地震と豪雪の複合災害により通行障害や雪崩等の多くの障害も発生した。これらの状況と現地の対策について紹介する。